

令和6年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【植水小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 全体的に課題が多いが、特に漢字基礎的な計算の定着に課題が見られた。繰り返し漢字や計算問題に取り組むことが必要。</p> <p><指導上の課題> 基礎・基本の定着のため、昨年度の結果から分かる、本校児童の学力を高めるワークシートの作成と、国語・算数タイムでの活用。</p>	<p>⇒ 校内研修と連携して組織的に運営し、児童が短い時間の中でも基礎・基本の定着につながる、国語・算数タイムでの指導内容の検討を行い、実施する。</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> さいたま市学習状況調査では、複数の学年で資料の読み取りや自分の考えをもつ問題に対して、課題が見られた。</p> <p><指導上の課題> 授業における、自分の考えをもち、その根拠となる部分の説明を行う指導の工夫が必要。</p>	<p>⇒ 一斉指導を行う時間と「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を意識して指導を行う時間の意識的な分けをしていく。「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業を行う際、自分で考えをもつ時間、相手に考えを伝える時間、全体で共有する時間の共通理解を教員と児童が図るその結果、子どもたちは、自分の考えを自信をもって発信できるよう、繰り返し指導していく。</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p><国語>学習した漢字を用いて熟語や例文に書き換えることに課題がある。また、問題の選択肢に出てくる用語の違いに気がつくことが難しく、正しい選択肢を選ぶことができていない。主語と述語の関係を探る問題では、述語の直前を主語と捉えている児童が多かった。以上のことから、普段から文章構造を意識したり既習の漢字を用いたりした短文づくりを行うなど、「ことば」の仕組みや漢字の学習の定着を図ることや、多くの語彙にふれていくことが必要と考えられる。</p> <p><算数>角柱の問題では、見取り図を頭の中で動かすことができないため、正答率が低い。面を正確に捉えるための理解が不十分であった。そのため、授業では積極的に具体物を活用していく必要がある。また、低学年から具体物等の積極的な活用を図り、たくさん触れさせ、回転させたり移動させたりしながらイメージを膨らませる活動を取り入れていく。</p>	
思考・判断・表現	<p><国語>文章を読んで自分の考えを書くことができるが、問題が進むに連れて正答率が下がっている。問題文、回答の選択肢など全体の文章量が多いことから、時間内に文章の内容が十分に理解できていないと考えられる。そのため、朝学習で取り組んでいる朝読書や授業内での音読など、読む活動を積極的にを行い、文章を読む習慣やそれに慣れる必要があると考えられる。</p> <p><算数>文章を読み、立式する問題に課題が見られた。それは問題文を正しく読むことができなかった結果と考えられる。そのため、普段の授業では、何を問われているのかを正しく読み取るために、イラストや図などを用いて考える習慣を身に付けさせていく。児童には、課題の解決のために絵や図を活用するよさを味わわせていく。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	C	1学期間は、各学年単位で、基礎学力を身に付けるために業前の国語・算数タイムを活用して、漢字テストやテスト直し、計算問題等に取り組んだ。夏季休業中に、全国学力・学習状況調査の結果をもとに、国語・算数タイムの効果的な取り組み方法を全校で見直し、2学期の朝学習で取り組んでいる。	変更なし
思考・判断・表現	B	個別最適な学びを意識して、学習を提供するよう心がけた。また、各学級では「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の観点から、協働的な学びの時間を設け、学びを共有したり、多面的な見方を広げたりして、より多くの児童が意見をもち、深い学びを行うための授業改善に取り組んだ。2学期以降は、研究授業・研究協議を設け、学校全体で取り組み方の共有や改善を図っていく。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)